１月８日：ベトナム株は今週も上昇が予想される

高い流動性と好パフォーマンスのいくつかのセクターがアナリストらを楽観的にさせており、ベトナム株は今週も上昇が続くと予想されている。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.97%高の 1,167.69 ポイントで金曜日の取引を終えた。

先週一週間で 5.8%の上昇を記録した。

平均の出来高は 7 億 7800 万株で売買代金にして 17 兆ドンであった。

MB 証券によると、多くの資金が市場に流入している。多くの投資家が株式市場に注目しており、好調なマクロ経済が国内外の投資家の投資材料となっている。

テクニカル的には、VN 指数は 1,100 ポイントを超える。長期的な上昇トレンドに入っており、短期的にも 1,200 ポイントを目指すことになるだろうと MB 証券は予想した。

ロンベト証券は、利食い売りにも関わらず、VN 指数は反発し安定した動きとなったと語る。

乱高下はあるが上昇トレンドにあると同社は述べた。

バオベト証券によると、指数は 1,180-1,200 ポイントの抵抗線に向かって動いている。

激しい動きや調整の圧力がこの抵抗線では予想される。多くのセクターで買われすぎの領域に達した時にである。

大型株は上昇を続け市場を支え続けるだろう。中小型株には利益確定の動きが見られる。

不動産、証券、銀行、鉄鋼セクターの第 4 四半期決算は好決算が予想される。決算発表が近づくにつれてセクターごとにまちまちの動きとなってきている。

株への投資比率は 40-50 パーセントを維持し、中長期的なポジションを組むべきだとした。

投資比率の高い投資家は抵抗帯に近づいたときには利益確定をして短期的なポジションを調整するべきだとバオベト証券は勧めた。

サイゴンハノイ証券によると、VN 指数が 2018 年 4 月の最高値である 1,211 ポイントに近づくにつれて、利益確定の動きが高まり不安的な動きになるだろう。

先週、ホーチミン、ハノイ両取引所の流動性は増加し続け、過去最大の売買代金である 19.2 兆ドンに達した。

週間では、売買代金ベースで 59%増の 85.2 兆ドンに達した。出来高でも 49%増加した。

ハノイ取引所でも売買代金が 51%増、出来高が 31%増となった。

先週は多くの銀行株が上昇した。BIDV 銀行（BID）は 1.3%高、ベトコムバンク（VCB）7%高、アジアコマーシャル銀行（ACB）7.5%高、VP バンク（VPB）9.4%高、ベティンバンク（CTG）12%高、サイゴンハノイ銀行（SHB）12.4%、テクコムバンク（TCB）13.3%高、軍隊銀行（MBB）15.7%高となった。

銀行に次ぐ上昇を見せたのが IT で CMC コーポレーション（CMG）が 0.3%高、FPT コーポレーション（FPT）は 7.1%高となった。

不動産、証券も相場を牽引した。ビングループ（VIC）3.3%高、ビンホームズ（VHM）7.7%高、ノバランド不動産（NVL）14.7%高、SSI 証券（SSI）3.2%高、ホーチミン市証券（HCM）とベトキャピタル証券（VCI）はどちらも 3.8%高、サイゴンハノイ証券（SHS）6.8%高といった動きだった。

飲食料品も堅調な動き。ビナミルク（VNM）、マッサングループ（MSN）なども上昇下。

外国人投資家は 3490 億ドンの売り越しだった。両市場で売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようにお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated（JSI）から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。